

報告事項エ

美術品の購入について

美術品の購入について、別紙のとおり報告します。

平成27年1月19日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

# 美術品の購入について

平成27年1月19日

博物館

鳥取県美術品取得基金を活用して以下の美術資料(19点)を購入します。

## 【購入予定作品】

NO	分野	作家名	購入理由	作品名	制作年 (和暦)	材質技法 (員数)	寸法H×W×D (cm)	購入予定価格 (税込千円)
1	近世 絵画	ひじかた とうれい 土方 稲嶺 (1741～1807)	【鳥取県に関係した近世以前の美術作品】 ●鳥取藩の家老・荒尾志摩の家臣であった土方家に生まれ、鳥取藩絵師として召し抱えられ、因幡画壇の祖と呼ばれる。 ●No.1～3は京都を中心に活躍した画業充実期の優品、No.4は大幅の三幅対という力作である。	そうぢず 双雄図	江戸時代後期	絹本着色 (二幅)	(各)97.0×38.0	2,700
2				ろうしゅうきしず 老松稚子図	江戸時代後期	絹本着色 (一幅)	95.0×41.0	2,160
3				まつ いんこず 松に音呼図	江戸時代後期	絹本着色 (一幅)	109.5×39.2	1,944
4				だいくぐんりず 大黒・群鯉図	文化元年(1803)・ 文化3年(1806)	絹本墨画淡彩 (三幅)	(中)143.5×56.5 (左右)142.5×56.0	3,240
5		くらた とうこう 黒田 稲卓 (1787～1846)	【鳥取県に関係した近世以前の美術作品】 ●鳥取藩士の林家に生まれ、鳥取藩分家の池田仲雅の近習となり、土方稲嶺について写生画法を学んだ。 ●No.5は鷹を得意としたと伝わる稲卓の優品。 No.6・8は稲卓が最も得意とした鯉図のなかでも質の高い作品、No.7は浦島太郎という珍しい画題に希少性がある。	ろうしゅうたかのず 老松鷹之図	江戸時代後期	絹本着色 (一幅)	110.0×49.0	1,296
6				りぎよず 鯉魚図	文政9年(1826)	絹本墨画淡彩 (二幅)	(各)127.0×56.0	1,944
7				うらしまきぎず 浦島騎亀図	江戸時代後期	絹本着色金彩 (一幅)	43.2×54.5	1,080
8				ゆりりず 遊鯉図	天保11年(1840)	絹本着色 (一幅)	112.7×49.0	1,296
9		おぼた とうしょう 小畑 福升 (1812～1886)	【鳥取県に関係した近世以前の美術作品】 ●鳥取市吉方に生まれ、黒田稲卓について画を学び、鳥取藩絵師として召し抱えられ、池田家菩提寺の格天井や藩主の肖像も手掛けた。 ●No.9～12は福升の画業初期から晩年までを網羅する鯉図の優品揃いである。	ぐんりのず 群鯉ノ図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 (一幅)	111.0×46.5	648
10				えんりず 淵鯉図	明治4年(1871)	紙本墨画淡彩 (一幅)	132.7×57.3	864
11				げつか そりりず 月下双鯉図	明治5年(1872)	絹本墨画淡彩 (一幅)	120.5×41.6	864
12				ぐんりひりず 群鯉飛鯉図	明治18年(1885)	紙本墨画淡彩 (一幅)	115.1×70.3	864
13	すが たてひこ 菅 楯彦 (1878～1963)	【鳥取県にゆかりのある近代作家の美術作品】 ●鳥取市の母方の里で生まれ、後に一家で大阪に移る。浪速風俗画を多く手掛け、大阪名誉市民賞、倉吉名誉市民賞を受賞。「鳥取県庁」の石版は楯彦の筆になる。 ●No.13は浪速風俗画の貴重な大作、No.14は小品ながら楯彦らしい軽妙な筆致が魅力の優品である。	なんかくしめんしょう 南郭春宵	1946年(昭和21年)	紙本着色 (一面)	105×127	2,500	
14			らんじん 雷神	大正～昭和初期頃	絹本墨画金泥 (一幅)	21.8×60.0(扇面)	270	
15	近代 日本画	こばやかわ しゅうせい 小早川 秋聲 (1888～1974)	【鳥取県にゆかりのある近代作家の美術作品】 ●日野郡日野町の光徳寺住職・小早川鉄僊の長男として生まれ、戦時中は従軍画家としてたびたび大陸に派遣され、終戦まで多くの戦争画を描いた。 ●大作の屏風であり希少価値が高く、不思議な魅力を持つ作品である。	もうじんず 盲人図	大正～昭和初期頃	絹本着色 (二曲一双)	(各)189.0×173.0	1,400
16	現代 工芸	はしもと こうふう 橋本 光風 (1900～1975)	【鳥取県にゆかりのある近代作家の美術作品】 ●鳥取県岩美郡岩美町宇白地の旧家・橋本家に生まれ、独学で漆画を会得。日本漆画院長、京都漆画院長。 ●漆絵という珍しい作品で、質も高い。	ぼたんず 牡丹図	大正～昭和初期頃	絹本着色 (一幅)	121.7×41.3	76
17		せと ひろし 瀬戸 浩 (1941～1994)	【鳥取県にゆかりのある現代作家の美術作品】 ●徳島市に生まれ、小・中・高校時代を鳥取市で過ごす。アメリカやオーストラリアの大学で陶芸の指導をするなど、国際的に活躍した。 ●No.17・18にはアメリカ陶芸の影響が顕著に表れており、時代性がうかがえる。No.19は瀬戸のバブルクアーティストとしての活動を知る上で重要な作品である。	ぎん 銀ストライプ壺	1970年代	陶器 (一点)	高さ22.5/ 直径15.0	162
18				せきとうちいじんきんろうつぽ 赤桃彩金條文壺	1973年(昭和48年)	陶器 (一点)	高さ25.5/ 直径30.5	540
19	さくひん オブジェ作品			1987年(昭和62年)	陶 (一点)	縦39.5/ 横39.5 厚さ8.5	324	
計					19点			24,172

## 【参考：近年の購入状況】

年度	購入金額	内 訳	
H25	29,258	5点	絵画4点、彫刻1点
H24	33,890	53点	絵画19点、写真31点、彫刻3点
H23	36,855	13点	絵画8点、彫刻2点、工芸3点



01

02

03

04



05

06

07

08



09(6)

10(7)

11(10)

12



13

14

15,1

15,2



16



17



18



19